

ふふ…♥ 待ってましたよ、マスター…♥

今夜は私に搾られる番、ですよね…？

腰を預けて、棄にして下さい…♥

私のシヤツを今にも弾けさせそうな

このおっぱいから目を離さないように…♥

決して大きいとは言えなかった私のおっぱいを

両手でも抱えられないくらいに大きくして…♥

体型はそのまま、おっぱいだけ好き放題育乳して…♥  
バストは100センチを少し超えただけなのに…♥  
しカップおっぱいになってしまったんですよ…♥  
このようなどすけば爆乳にした責任、  
貴方の精液でしっかり私ってもらいます…♥

さあ、ズボンの中でおっぱいに搾り取られたくて  
ガチガチになっているモノ…♥  
バキバキの勃起『おちんちん』を、私に見せて下さい…♥

♡ゆさ♡

♡みち♡

♡だっぽん♡

♡だっぽん…♡

♡ぎんち♡

くす、いつ見ても立派ですね…♡ こんなに大きくして…♡  
それに、おちんちんからとてもしゃらしい、  
精液とミルクの濃い白いがしますね…♡  
これは母乳でしょうか…？

さては昨日、また別の私に搾り取られていたのですね…？  
私や黒い剣の私はまだ、母乳が出せませんから…♡  
槍を持つ成長した私に搾られたのでしょうか…♡

私のより数段大きな、魔性のおっぱいに挟まれて…♡  
彼女の母乳まみれのミルクパイプリーは気持ちよかったですか…？  
おちんちんに母乳の白いがこびりついて、  
洗っても取れなくなるくらいに虐められたのでしょうか…？  
そうですよね、淫気性で節操なしの変態マスターさん…♡  
ふふ、マスターがどうしようもない  
おっぱい好きなのは理解してはいますが…♡

他のアルトリアのおっぱいに夢中なのは、  
少々、いえかなり癪ですので…♡  
今日は頑張らせてもらいますね…♡  
いっばいおもらし射精していただきます…♡



ほろんっ♡

んっ…♡ 全部おっぱいに埋まっ…てしまいました…♡  
っ…ぷりと根本まで…♡ 火傷しそうに熱い…♡

小さな小さな私のシャツに包まれて、  
物凄い乳圧になってるおっぱいに  
おちんちんを突っ込んだりしたら…♡  
ふふ、言うまでもありませんね…♡

もう爆発しそうになってるのが  
おっぱいから伝わってきます…♡

あまりおちんちんを震わせないで下さい…♡  
シャツのボタンが限界なのですから…♡  
もう何個、何着、だめにしたことか…♡  
すぐにしカップおっぱいに負けて、  
はちきれちゃうのです…♡

このまま動かないでいてあげますから…♡  
おっぱいの乳圧と暖かさ、おちんちんで感じて下さいね…♡  
ゆっくり薄けさせてあげます…♡

むちっ♡

だぼん♡

っ…んっ♡

みちっ♡

ぬふ♡

つちっ♡



あっ…♡ またボタンが弾け飛んでしまいました…♡  
おっぱいの中でおちんちんがもっと大きくなったお陰で…♡  
縫い糸が耐えられませんでしたか…♡  
もうシヤツに残っているボタンの方が少ないですね…♡

ええ、やはりパイプリーは良い物です…♡  
殿方の一番弱いところをおっぱいで甘やかしながら…♡

あなたの濡れた顔をゆっくり眺められるのです…♡  
堪りませんね、マスター…♡  
これだけおっぱいが大きければ、  
好きなだけ楽しめる娯楽になってしまう…♡  
マスターのおちんちんが枯れない限り、ですが…♡  
これだけおっぱいの中で元気に跳ねていれば、当分楽しめそうです…♡

もう、お漏らし我慢できませんか…♡  
たくさん射精して、おっぱいの中を汚して下さいね…♡

たぽぽ

たぽぽ

はっつんっ

ゆさ

たぽぽ



ああ…♡ おっぱいの中が熱い…♡  
いっぱい射精しましたね…♡  
顔にまで精液が飛んできました…♡

ふふ、私は殆どおっぱいを動かしてなどいませんが…♡  
おっぱいの柔らかさと体温に甘やかされただけで、  
甘イキ射精してしまっただのですね…♡

昨日も数々、槍の私に搾り取られたのでしょように、  
元気な早漏おちんちんで、私も搾り甲斐があります…♡

他の私がこのおちんちんに夢中なのも分かる気がしますね…♡  
私も、すでに腐なのもかもしれません…♡ とても楽しいです…♡

ふふ、甘イキでは物足りないとおちんちんが震えていますよ…♡  
ただの一発射精しただけで終わるわけ、ありませんよね…♡  
もっと気持ちよく、思い切り射精させてあげます…♡



どくんっ♡

ビクッ ビクッ

どろお…♡

ずりゅりゅ、と...♡ こうやって、搾り上げるように...♡  
マスターの一番弱い所、おっぱいで磨り潰しますね...♡  
こうやって激しくされるのも、マスターはお好みでしたね...♡  
おちんちんの快樂細胞、一つ残らずおっぱいで甘く削って...♡  
一番気持ちのいいお射精、させてあげます♡  
しっカップ爆乳おっぱいの重み、しっかり感じて下さいね...♡

とろとろおっぱいがおちんちんにねちっこく絡みついて...♡  
マスターの精液を食べ尽くそうとされていますよ...♡  
おっぱいがマスターの腰に打ち付けられるたびに  
だばん、だばんと音が立っています...♡

おちんちんがもう震えっぱなしです...♡  
イきたくなったらお好きなきにどうぞ...♡  
おもらしの間、ずっとおっぱいで虐めてあげますから...♡  
気持ちよくお精子びゅーびゅーして、私のおっぱいに種付け射精してください...♡

ぐちゅ♡

ずちゅ♡

だほん♡

ぬ♡

ちゅ♡

にゅ♡

♡

くす、ねばねばのオス汁がこんなに…♥ 乳肉の間から漏れてきましたね…♥  
思いっきり乳内射精しているのに、全然勢いがありません…♥  
せっかく種付けのために飛び出してきた精液も、  
おっぱいの中に閉じ込められてしまっは…♥  
ただの無駄撃ち、コキ捨て精液になってしまします…♥  
こんなに濃厚で、どろどろで、元気なのに…♥

全部おっぱいが独り占め…♥  
持ち主に似てたくさん食べるようですね、  
私の爆乳おっぱいは…♥  
マスターの精液は私が全部いただきます…♥

ふふ…♥ このパイズリ大好きよわよわおちんちん、  
2度も射精しておきながらまだ硬いのですね…♥  
ぬるぬるでどろどろなおっぱいの谷間で  
もう一度、気持ちのいいお漏らししてみましようか…♥  
びゅー♥ と谷間から飛び出すくらいのお射精、今度はちゃんとしてみましようね♥



…♡♡♡ しカッブおっぱいに押し潰されていながら、  
びゅるびゅるお漏らし出来ていますね…♡♡ 目の高さにもまで噴き出しています…♡♡

おちんちんが震えるたびに熱い精液が噴き出して、  
おっぱいの中で暴れまわって…♡♡  
お漏らし精液がマーキングしようとしているのですね…♡♡  
マスター専用の私のおっぱいは気持ちよかったですか…？

しっとり湿った、とろとろ肉質の騎士王おっぱい…♡♡  
貴方のおちんちんに絡みついて、  
精液を搾り取るためだけにこんなにいやらしく大きくなった  
爆乳セイバーおっぱいの味、いかがでしたか…♡♡

嬉しそうに頷きますね…♡♡ ええ、当然ですとも…♡♡  
いつでも貴方が使いたいときに使って、  
たくさん精液を吐き出せるよう準備しておりますので…♡♡  
いつものように、貴方が好き放題マーキングしたおっぱいの中、見せてあげますね…♡♡



どくっ♡



ぶゅんっ♡

ぶゅんっ♡

たぽん♡

どろろ♡



凄いですね…♥ 貴方という人は、こんなに汚して…♥  
真っ白ではないですか…♥

ねばねばの固形精液がおっぱいの谷間で橋を架けています…♥  
おっぱいが少し重くなったようにさえ感じますよ…♥  
気持ちよく射精していただけたようで嬉しいです…♥

ふふ、こんなに濃厚な魔力を持った精液を  
好き放題乳内射精されてしまったのは、  
またおっぱいが大きくなってしまいかもしれませんね…♥  
困ったものです…♥

おっぱいのせいで剣を振れなくなったら、  
今度は本当に、マスターに責任を取ってもらわなければなりませんね…♥  
その時は、覚悟して下さい…♥



あっ…♡ 少し、甘イキしましたか…？  
ふふ、貴方の射精したどろどろの種付け精液に  
すっかり汚されたおっぱいを見て、また興奮してしまっ  
たのですね…♡

尿道に残った精液が漏れてきたのか、それとも…♡  
まだまだ搾り取ってほしいと、  
貴方のおちんちんが寂しがっているのか…♡

試してみましようか…♡  
たったの3発、おもらし射精しただけですし…♡  
これで首を上げるほど貴方のおちんちんも金玉も、  
軟弱ではありませんよね…♡

今から私の気が済むまで、おっぱいで搾り取って…♡  
おちんちんを鍛えてあげます…♡  
ノルマは今から10発…♡  
枯れることなく私の期待に伝えて下さいね、マスター…♡



どくんっ♡

ぶぶっ♡  
びびっ♡

たぽん♡

ぶっ♡  
びっ♡

どろろお…♡

どん

どん

ゆさっ♡

ぐざあ…♡



























ふふ…♥ 待ってましたよ、マスター…♥  
今夜は私に搾られる番、ですよね…？  
腰を預けて、棄にして下さい…♥  
私のシヤツを今にも弾けさせそうな  
このおっぱいから目を離さないように…♥

決して大きいとは言えなかった私のおっぱいを  
両手でも抱えられないくらいに大きくして…♥

体型はそのまま、おっぱいだけ好き放題育乳して…♥  
バストは100センチを少し超えただけなのに…♥  
しカップおっぱいになってしまったんですよ…♥  
このようなどすけば爆乳にした責任、  
貴方の精液でしっかり私ってもらいます…♥

さあ、ズボンの中でおっぱいに搾り取られたくて  
ガチガチになっているモノ…♥  
バキバキの勃起『おちんちん』を、私に見せて下さい…♥

♡ゆさ♡

♡みち♡

♡だっぽん♡

♡だっぽん…♡

くす、いつ見ても立派ですね…♡ こんなに大きくして…♡  
それに、おちんちんからとてもしゃらしい、  
精液とミルクの濃い白いがしますね…♡  
これは母乳でしょうか…？

さては昨日、また別の私に搾り取られていたのですね…？  
私や黒い剣の私はまだ、母乳が出せませんから…♡  
槍を持つ成長した私に搾られたのでしょうか…♡

私のより数段大きな、魔性のおっぱいに挟まれて…♡  
彼女の母乳まみれのミルクパイプリーは気持ちよかったですか…？  
おちんちんに母乳の白いがこびりついて、  
洗っても取れなくなるくらいに虐められたのでしょうか…？  
そうですよね、淫気性で節操なしの変態マスターさん…♡  
ふふ、マスターがどうしようもない  
おっぱい好きなのは理解してはいますが…♡

他のアルトリアのおっぱいに夢中なのは、  
少々、いえかなり癪ですので…♡  
今日は頑張らせてもらいますね…♡  
いっばいおもらし射精していただきます…♡





んっ…♡ 全部おっぱいに埋まっ…てしまいました…♡  
っ…ぷりと根本まで…♡ 火傷しそうに熱い…♡

小さな小さな私のシヤツに包まれて、  
物凄い乳圧になってるおっぱいに  
おちんちんを突っ込んだりしたら…♡  
ふふ、言うまでもありませんね…♡

もう爆発しそうになってるのが  
おっぱいから伝わってきます…♡

あまりおちんちんを震わせないで下さい…♡  
シヤツのボタンが限界なのですから…♡  
もう何個、何着、だめにしたことか…♡  
すぐにしかップおっぱいに負けて、  
はちきれちゃうのです…♡

このまま動かないでいてあげますから…♡  
おっぱいの乳圧と暖かさ、おちんちんで感じて下さいね…♡  
ゆっくり薄けさせてあげます…♡

むちっ♡

だぼん♡

っ…んっ♡

みちっ♡

ぬふ♡

つちっ♡



あっ…♡ またボタンが弾け飛んでしまいました…♡  
おっぱいの中でおちんちんがもっと大きくなったお陰で…♡  
縫い糸が耐えられませんでしたか…♡  
もうシヤツに残っているボタンの方が少ないですね…♡

ええ、やはりパイプリーは良い物です…♡  
殿方の一番弱いところをおっぱいで甘やかしながら…♡

あなたの濡れた顔をゆっくり眺められるのです…♡  
堪りませんね、マスター…♡  
これだけおっぱいが大きければ、  
好きなだけ楽しめる娯楽になってしまう…♡  
マスターのおちんちんが枯れない限り、ですが…♡  
これだけおっぱいの中で元気に跳ねていれば、当分楽しめそうです…♡

もう、お漏らし我慢できませんか…♡  
たくさん射精して、おっぱいの中を汚して下さいね…♡

たぽぽ

ぽんぽん

はっつんっ

ゆさ

たぽぽん



ああ…♡ おっぱいの中が熱い…♡  
いっぱい射精しましたね…♡  
顔にまで精液が飛んできました…♡

ふふ、私は殆どおっぱいを動かしてなどいませんが…♡  
おっぱいの柔らかさと体温に甘やかされただけで、  
甘い射精してしまっただけです…♡

昨日も数々、槍の私に搾り取られたのでしょように、  
元気な早漏おちんちんで、私も搾り甲斐があります…♡

他の私がおちんちんに夢中なのも分かる気がしますね…♡  
私も、すでに腐なのもかもしれません…♡ とても楽しいです…♡

ふふ、甘いでは物足りないとおちんちんが震えていますよ…♡  
ただの一回射精しただけで終わるわけ、ありませんよ…♡  
もっと気持ちよく、思い切り射精させてあげます…♡



どくんっ♡

ビクッ ビクッ

♡どろお…♡

ずりゅりゅ、と...♡ こうやって、搾り上げるように...♡  
マスターの一番弱い所、おっぱいで磨り潰しますね...♡  
こうやって激しくされるのも、マスターはお好みでしたね...♡  
おちんちんの快樂細胞、一つ残らずおっぱいで甘く削って...♡  
一番気持ちのいいお射精、させてあげます♡  
しっかっ爆乳おっぱいの重み、しっかっ感じて下さいね...♡

とろとろおっぱいがおちんちんにねちっこく絡みついて...♡  
マスターの精液を食べ尽くそうとしていますよ...♡  
おっぱいがマスターの腰に打ち付けられるたびに  
だばん、だばんと音が立っています...♡

おちんちんがもう震えっぱなしです...♡  
イきたくなったらお好きなきにどうぞ...♡  
おもらしの間、ずっとおっぱいで虐めてあげますから...♡  
気持ちよくお精子びゅーびゅーして、私のおっぱいに種付け射精してください...♡

ぐちゅ♡

ずち♡

だほん♡

ぬ♡

ち♡

にゅ♡

♡

くす、ねばねばのオス汁がこんなに…♥ 乳肉の間から漏れてきましたね…♥  
思いっきり乳内射精しているのに、全然勢いがありません…♥  
せっかく種付けのために飛び出してきた精液も、  
おっぱいの中に閉じ込められてしまっは…♥  
ただの無駄撃ち、コキ捨て精液になってしまいます…♥  
こんなに濃厚で、どろどろで、元気なのに…♥

全部おっぱいが独り占め…♥  
持ち主に似てたくさん食べるようですね、  
私の爆乳おっぱいは…♥  
マスターの精液は私が全部いただきます…♥

ふふ…♥ このパイズリ大好きよわよわおちんちん、  
2度も射精しておきながらまだ硬いのですね…♥  
ぬるぬるでどろどろなおっぱいの谷間で  
もう一度、気持ちのいいお漏らししてみましようか…♥  
びゅー♥ と谷間から飛び出すくらいのお射精、今度はちゃんとしてみましようね♥



…♡♡♡ しっカップおっぱいに押し潰されていながら、  
びゅるびゅるお漏らし出来ていますね…♡♡ 目の高さにもまで噴き出しています…♡♡

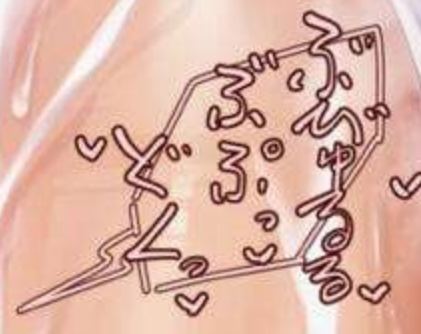
おちんちんが震えるたびに熱い精液が噴き出して、  
おっぱいの中で暴れまわって…♡♡  
お漏らし精液がマーキングしようとしているのですね…♡♡  
マスター専用の私のおっぱいは気持ちよかったですか…？

しっとり湿った、とろとろ肉質の騎士王おっぱい…♡♡  
貴方のおちんちんに絡みついて、  
精液を搾り取るためだけにこんなにいやらしく大きくなった  
爆乳セイバーおっぱいの味、いかがでしたか…♡♡

嬉しそうに頷きますね…♡♡ ええ、当然ですとも…♡♡  
いつでも貴方が使いたいときに使って、  
たくさん精液を吐き出せるよう準備しておりますので…♡♡  
いつものように、貴方が好き放題マーキングしたおっぱいの中、見せてあげますね…♡♡



どくっ♡



ぶゅるっ♡

ぶゅるるる♡

たぽん♡

どろろ♡

凄いですね…♡ 貴方という人は、こんなに汚して…♡  
真っ白ではないですか…♡

ねばねばの固形精液がおっぱいの谷間で橋を架けています…♡  
おっぱいが少し重くなったようにさえ感じますよ…♡  
気持ちよく射精していただけたようで嬉しいです…♡

ふふ、こんなに濃厚な魔力を持った精液を  
好き放題乳内射精されてしまったら、  
またおっぱいが大きくなってしまいかもしれませんね…♡  
困ったものです…♡

おっぱいのせいで剣を振れなくなったら、  
今度は本当に、マスターに責任を取ってもらわなければなりませんね…♡  
その時は、覚悟して下さい…♡



あっ…♡ 少し、甘イキしましたか…？  
ふふ、貴方の射精したどろどろの種付け精液に  
すっかり汚されたおっぱいを見て、また興奮してしまっ  
たのですね…♡

尿道に残った精液が漏れてきたのか、それとも…♡  
まだまだ搾り取ってほしいと、  
貴方のおちんちんが寂しがっているのか…♡

試してみましようか…♡  
たったの3発、おもらし射精しただけですし…♡  
これで首を上げるほど貴方のおちんちんも金玉も、  
軟弱ではありませんよね…♡

今から私の気が済むまで、おっぱいで搾り取って…♡  
おちんちんを鍛えてあげます…♡  
ノルマは今から10発…♡  
枯れることなく私の期待に応えて下さいね、マスター…♡



どくんっ♡

ぶひっ♡

たぽん♡

ふっ♡

どろろお…♡

どん

どん

ゆさっ♡

みぢゃあ…♡



























